

1.はじめに ~素朴な疑問~

最近、地方自治体の首長選挙結果のニュースを見ていると…

「市の新しい顔となりました、市長です」
と言うフレーズを耳にする。

変じゃないですか？

まちづくりの主役は、住民でしたよね？

地方公務員の方と仕事をする時…

「自治体名やロゴの入った名刺」をよくもらう。

変じゃないですか？

なぜ自治体首長や公務員だけが、まちの代表者のような顔をして
まちの名前の入った名刺や封筒を使うのでしょうか？

2.課題の整理 ~思い・エネルギー~

地方自治体の仕事に直接従事していなくても、街には…

「我こそは、このまちを誰よりも好きだ」

とはっきりと言える人はきっと沢山いるはずです。

「私は誰よりも、このまちの良さを上手に説明できる」

と思っている人はきっといるはずです。

「上手にできないけど、でもこのまちを多くの人に紹介したい」

と思っている人はきっと沢山いるはずです。

上記のまちの人達にも、まちのかおを任せてみませんか？

きっとまちづくりの大きな原動力となるはずです。

3.課題解決へ ~提案~

まちに住む人が誰でも自由に使える名刺をつくりませんか？

例えば・・・



デザインは「福岡市 HP」より引用

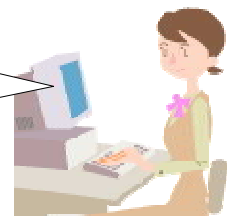


デザインは「博多めぐり HP」より引用

4.具体的方策 ~作成方法は簡単~

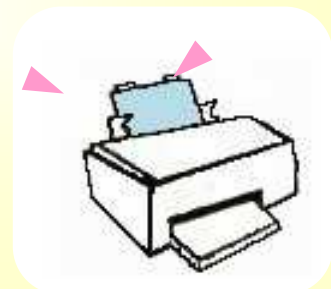
自治体の HP の中に「名刺作成のページ（簡易なプログラム）」と「名刺のデザイン」を用意します。そうすれば、誰もが自由に使えます。

手順 1：名刺をつくりたい人は、パソコンの画面上で、名刺に必要な住所や名前などの事項を入力



手順 2：さらに名刺裏面用に、まちの自慢・紹介について自由に入力（任意）

手順 3：後はプログラムが自動的に配置するので、それを印刷すれば“完成”



5 具体的方策 ~ 使用方法 ~

あなたが名刺を使う時・・・

あなたが名刺を渡す時
町の です」と名乗りましょう。

あなたが名刺を渡した時から
あなたはまちの代表者です。
そして、まちのかおです。



名刺をつかってまちの話をする時
あなたはまちの広報マンです。

6.おわりに ~ 夢 ~

みんなが名刺を持つようになったら・・・

もし同じまち出身の有名人やプロ野球選手が同じ名刺を持っていたら・・・
よそのまちの友人や知人に自慢したくなりませんか？

もし遠く離れた別のまちで同じ形式の名刺を持つ人に偶然出会ったら・・・
嬉しくて、まちの話で盛り上がしませんか？

さらに、旅行に行った時、他のまちの名刺を集めてみたくはありませんか？
もしくは、お互いのまち自慢を試みたくはありませんか？

ここに挙げたのは単なる一例です。

自分のまちにことが大好きな人は
きっと、もっと素敵な使い方をすることでしょう。